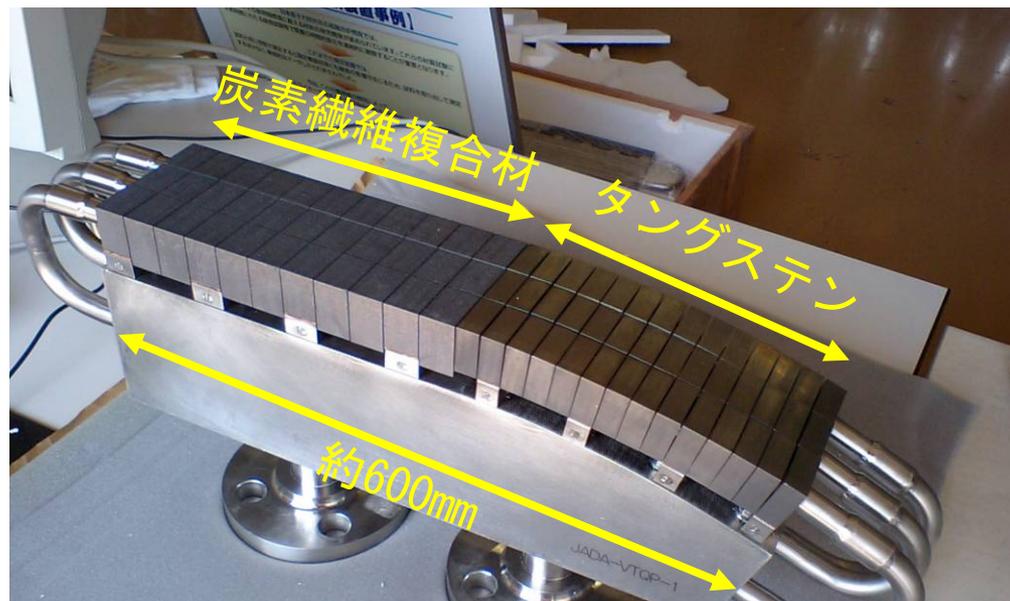


性能評価試験用ダイバータ試験体



完成した性能評価試験用ダイバータ試験体を、エフレモフ研究所（ロシア）に輸送し、2008年秋から2009年2月中旬まで、高熱負荷実験を実施した。その結果、下記の要求条件（判定条件）を満たすことに成功し、原子力機構はITER機構から、ダイバータ調達極（日・欧・露）で初となる実機ダイバータ製作に必要な技術能力を認定された。これによって実機ダイバータの調達を開始できる。

ITERダイバータ要求条件（判定条件）

- 炭素複合材部： $20\text{MW}/\text{m}^2 \times 1000\text{回} + 10\text{MW}/\text{m}^2 \times 1000\text{回}$
- タングステン部： $5\text{MW}/\text{m}^2 \times 1000\text{回} + 3\text{MW}/\text{m}^2 \times 1000\text{回}$

左：Mario Merola氏（ITER機構ダイバータセクションリーダー）
右：鈴木哲（ブランケット工学研究グループ）